

唐土訓蒙圖彙

自三至五

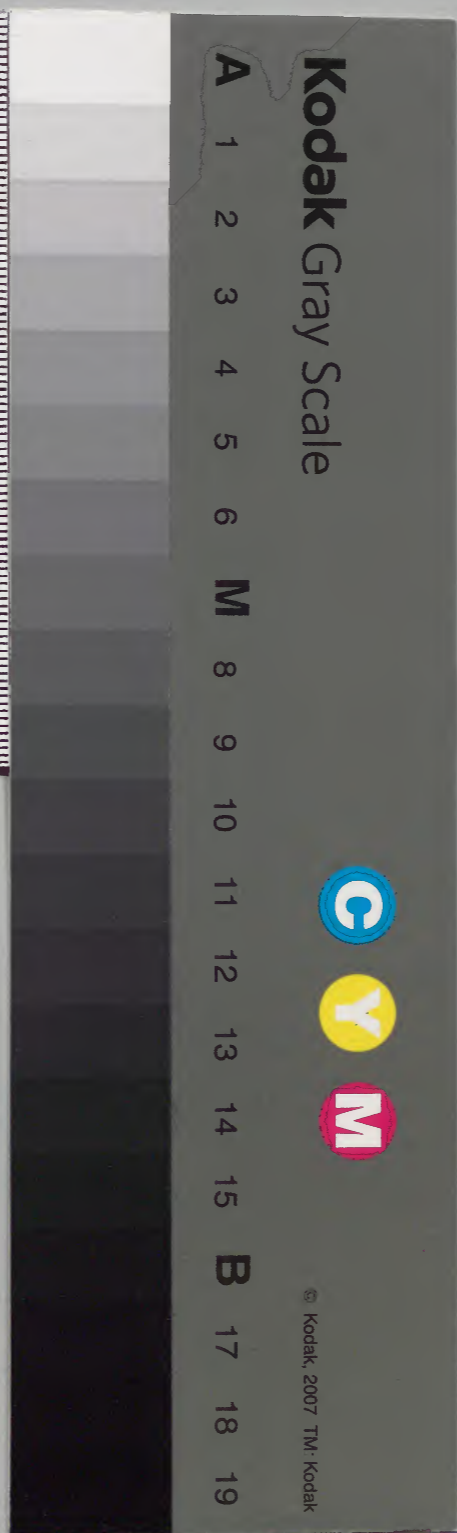
農商省
圖書
第 五 號
共 五 冊

大政官文庫
和書門
一三九
二二九
五七
冊架函號

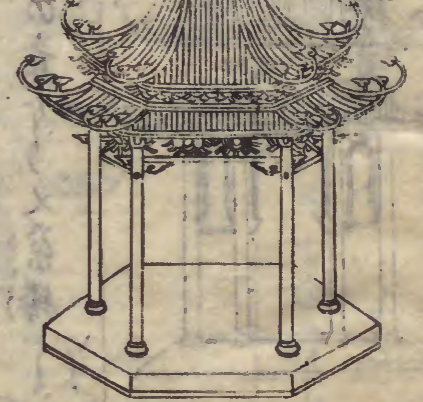
內閣文庫
和書類
一一九
二二九
一四
冊架函號

內閣文庫	
番號	和 11299
冊數	5 (2)
函號	184 361

典故



亭
亭の字の意は
さゆりあつた
不し秦の法
十里
あり
長といふなり

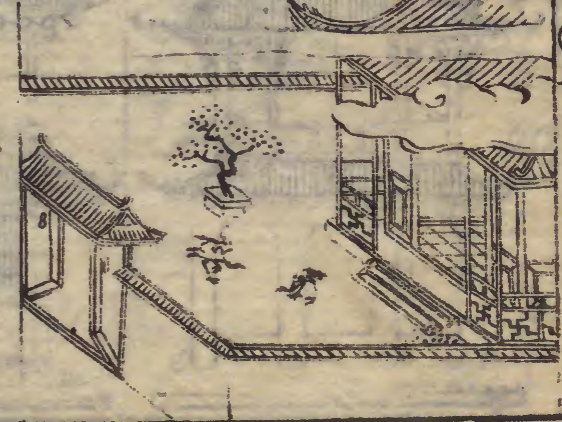


舎
舎なり他國
賓使
和の使者
舎なり

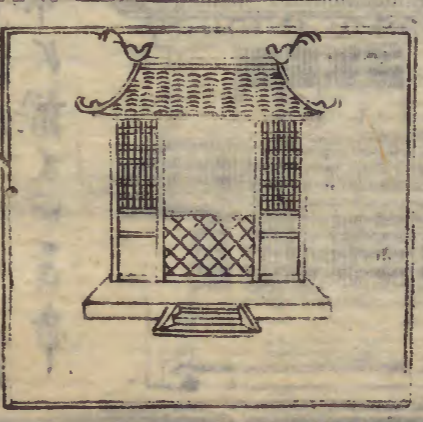


庭
庭の意は
黄帝大庭の
庭の名
あり

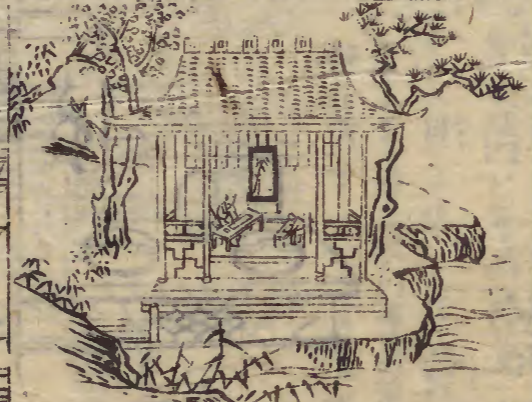
宮
宮の意は
孟子の宮
五畝の宮
あり



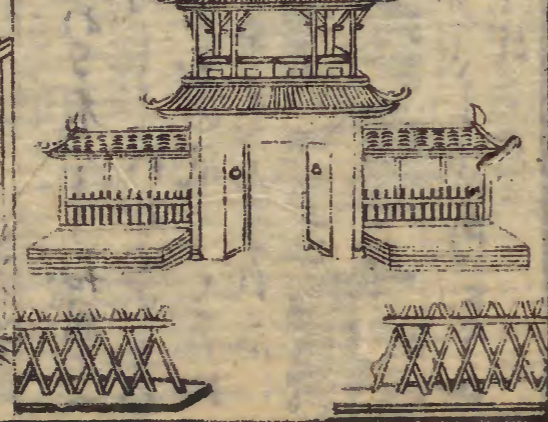
宅
宅の意は
孟子の宅
五畝の宅
あり



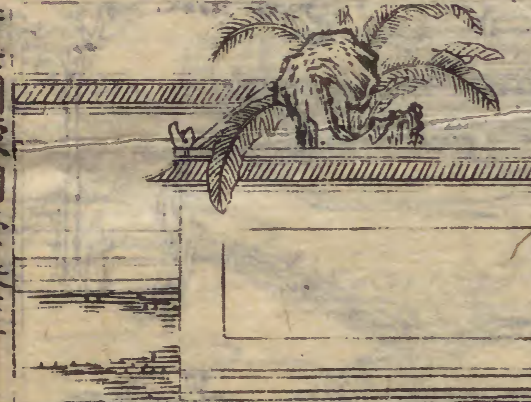
齋
宣帝齋居と
事と
及上殿仲港
他の
所



廊
廊の意は
所と府と
あり



堵
堵の意は
史記
あり



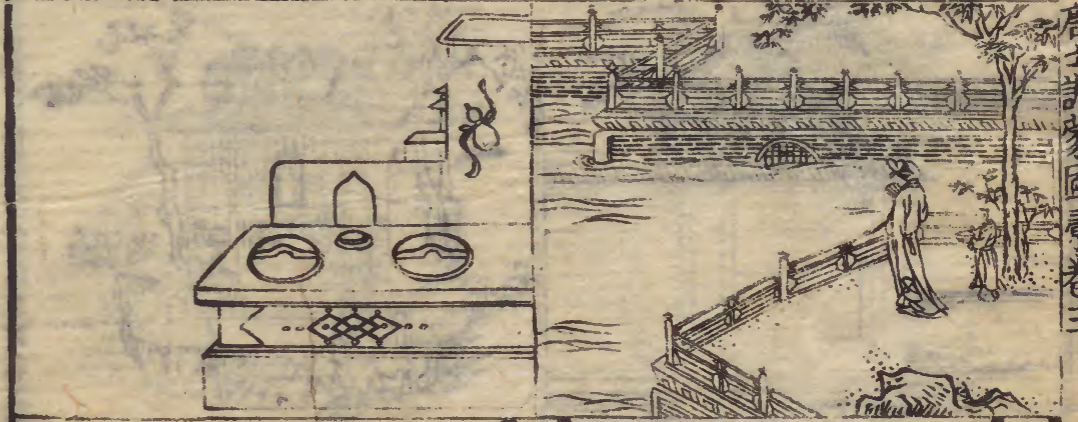
庭
庭の意は
儀性
あり



闕

この水は... 人の水... 闕の... 帝の... 寛の... 人造火... 百の... 百の...

百の...



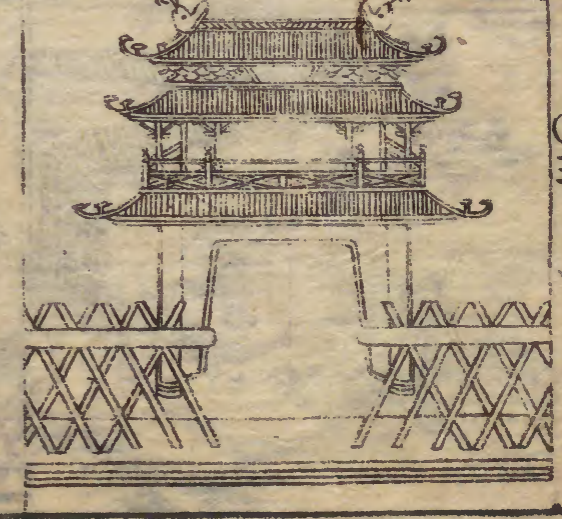
唐土... 卷...

行馬

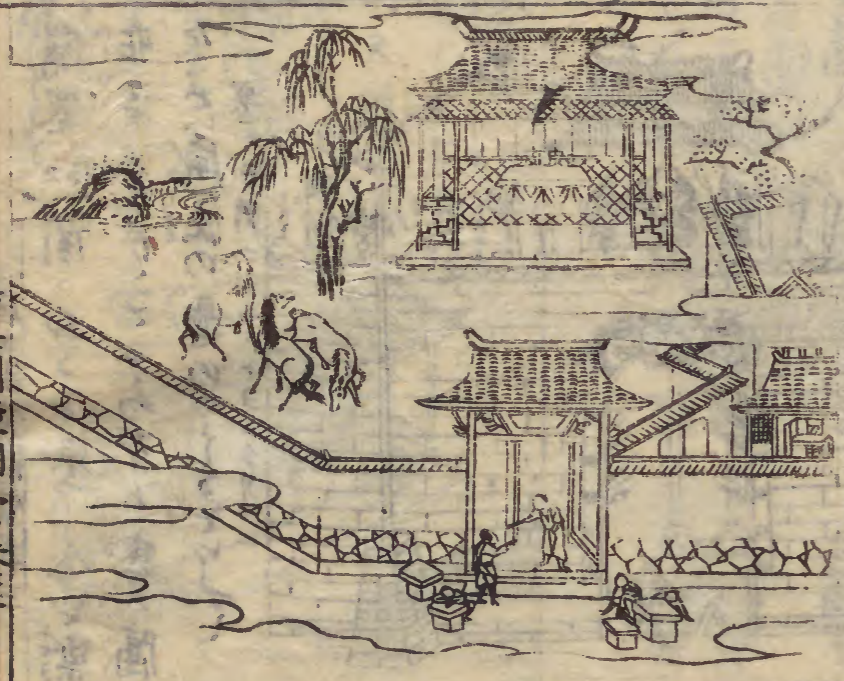
今の時... 又の場... 同...

華表

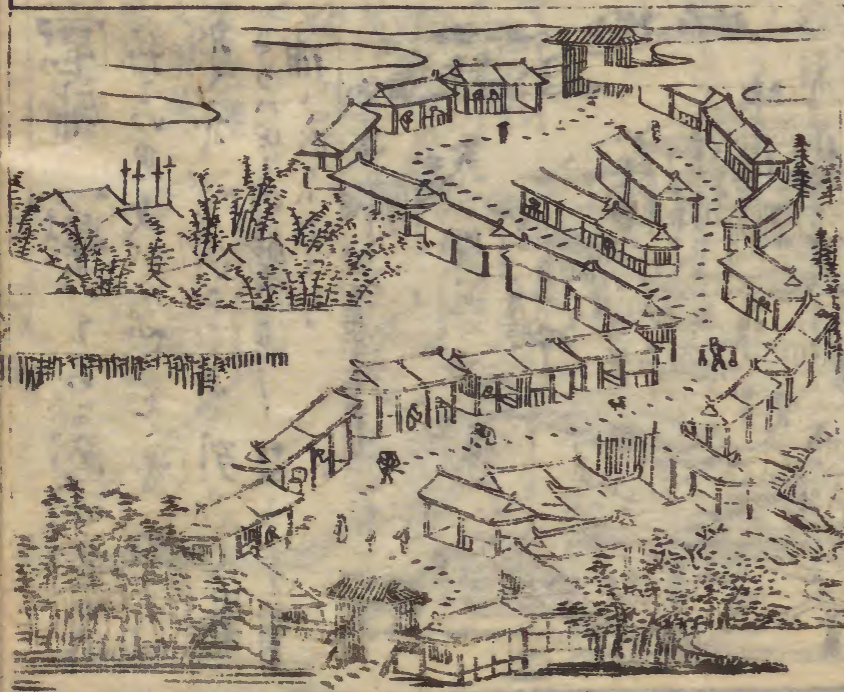
神廟の... 鳥居に... の... くら... くら... の... の...



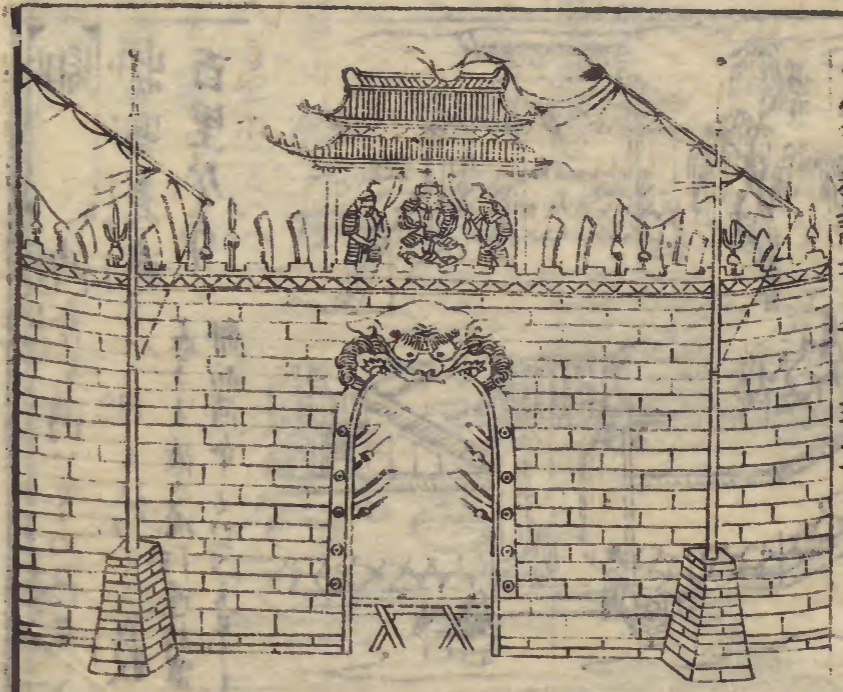
闕... 傳... 帝馬... 百里... 孟... 郵...



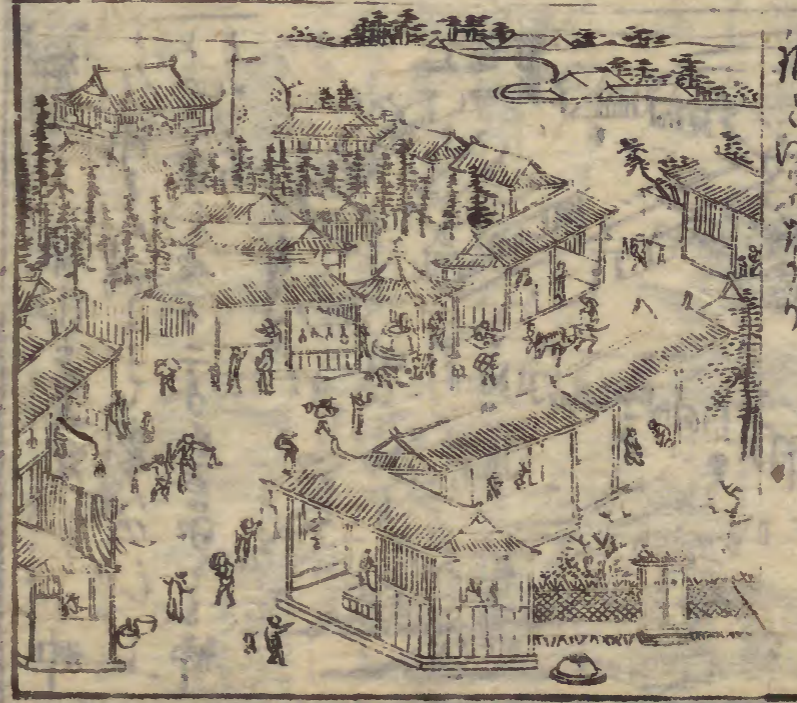
郷... 周... 郷... 郷... と...



關塞 國之出入之要
非常之要也 國之出入之要
非常之要也 國之出入之要
非常之要也 國之出入之要
非常之要也 國之出入之要



星鋪 肆之市也 肆之市也
肆之市也 肆之市也 肆之市也
肆之市也 肆之市也 肆之市也
肆之市也 肆之市也 肆之市也



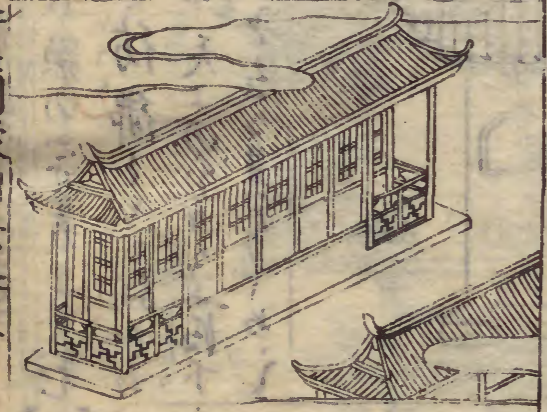
坊

坊ハ方ニ
と街と
之廣乃
名漢の
時より
と



房

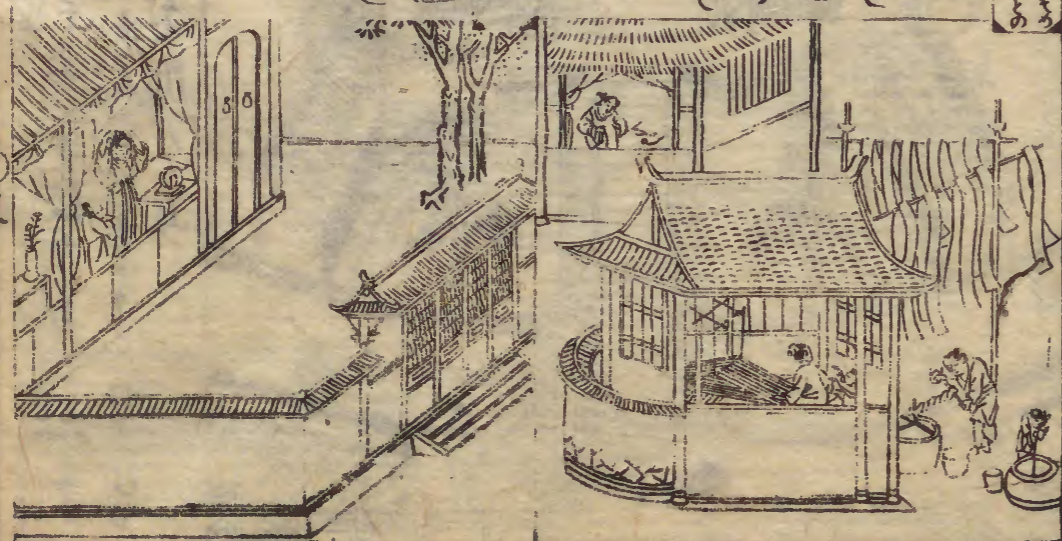
房ハ方ニ
同ハ方ニ
又房の義
不ハ雨燥
濕と防也
宮室の制
中央と心
左右と
房と



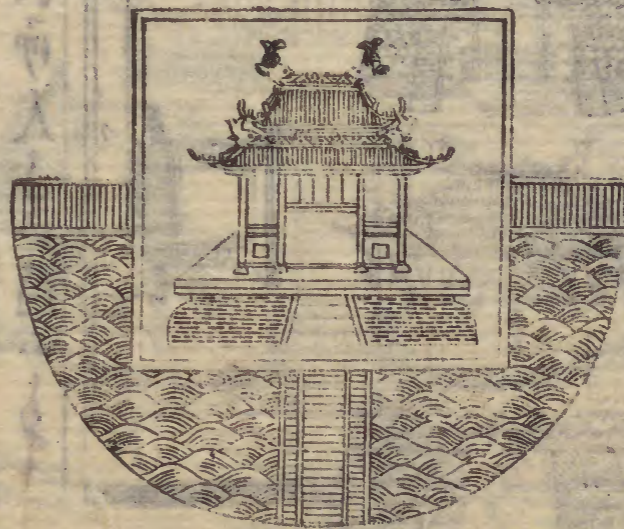
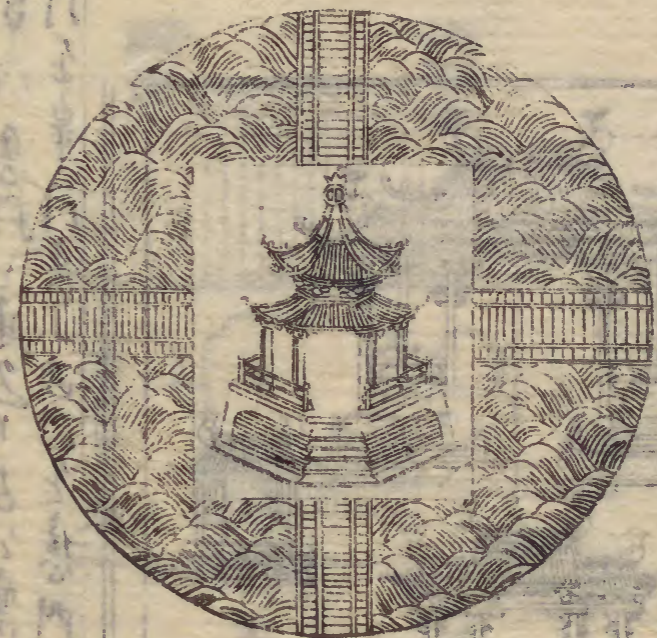
暴室
宮中乃
織物
除練を
つと
不といふ

帷
帷ハ帷也
帷ハ帷也
帷ハ帷也
帷ハ帷也
帷ハ帷也

帷
帷ハ帷也
帷ハ帷也
帷ハ帷也
帷ハ帷也
帷ハ帷也

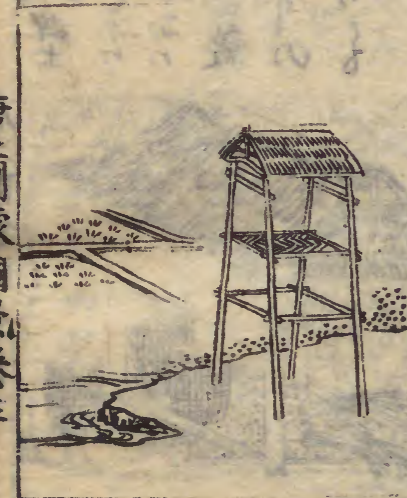


辟雍 天子の村と云ひれを
津宮 津の義ハ半の字と
ゆふの取し水と引て四かひと
通し天子又云れりうここれ
しくさりの観つやうに橋おこし
諸侯の世子舎をり



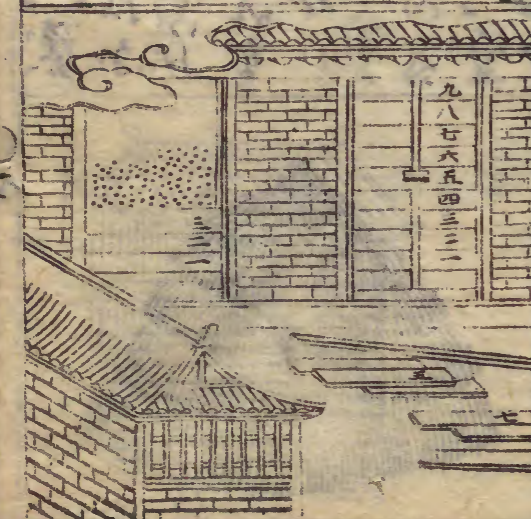
田廬

民の家おふ
中を踏た
を畜ふと將
り五畝の
宅二畝半と
處と二畝
半と田と
右制なり



牛室

牛と
ころ横
と
室

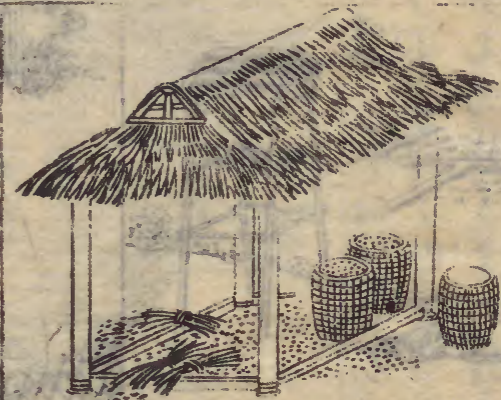
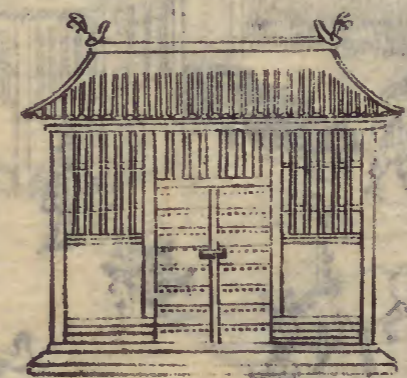


廩 くら 壁土

わくやぬこら
わくとのふあり
廩倉五穀
とるる所の
おむりも
いへる

庫 くら 兵器

金彫やと
書といふ身
文庫庫ハ
湯武のこま
五庫と染て
五兵とるる
くらめり

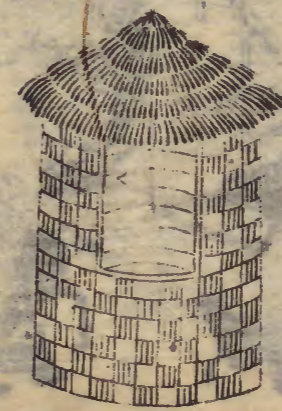


廩 くら 壁土

らくをぬふ
くらとよ
いゆり
けつちり

圓 くら 丸

建て若さ
ふらとよ
廩の圓
と圓



京 くら 加

けりとよ又
原の字よつ
京ハ高大乃
義とゆつ
いへり

賣 くら

小て腹
よして外へ
とおきてか
下るといへる
客よ似る

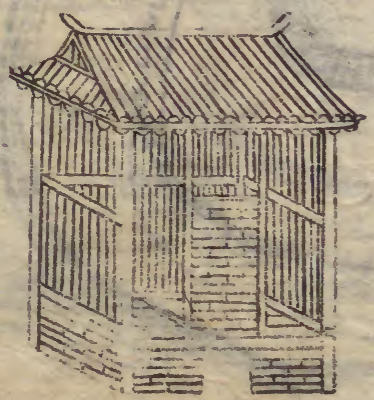
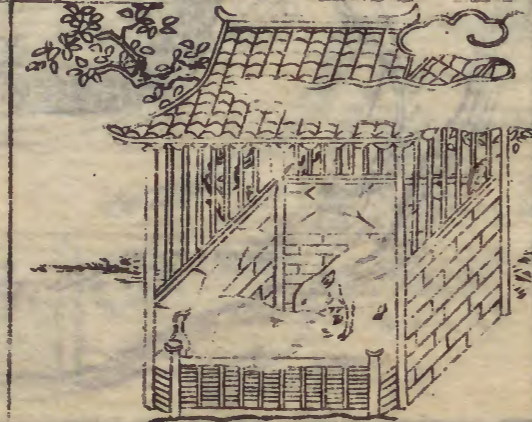


圓 くら 牛

系の教とよ
とあるといふ

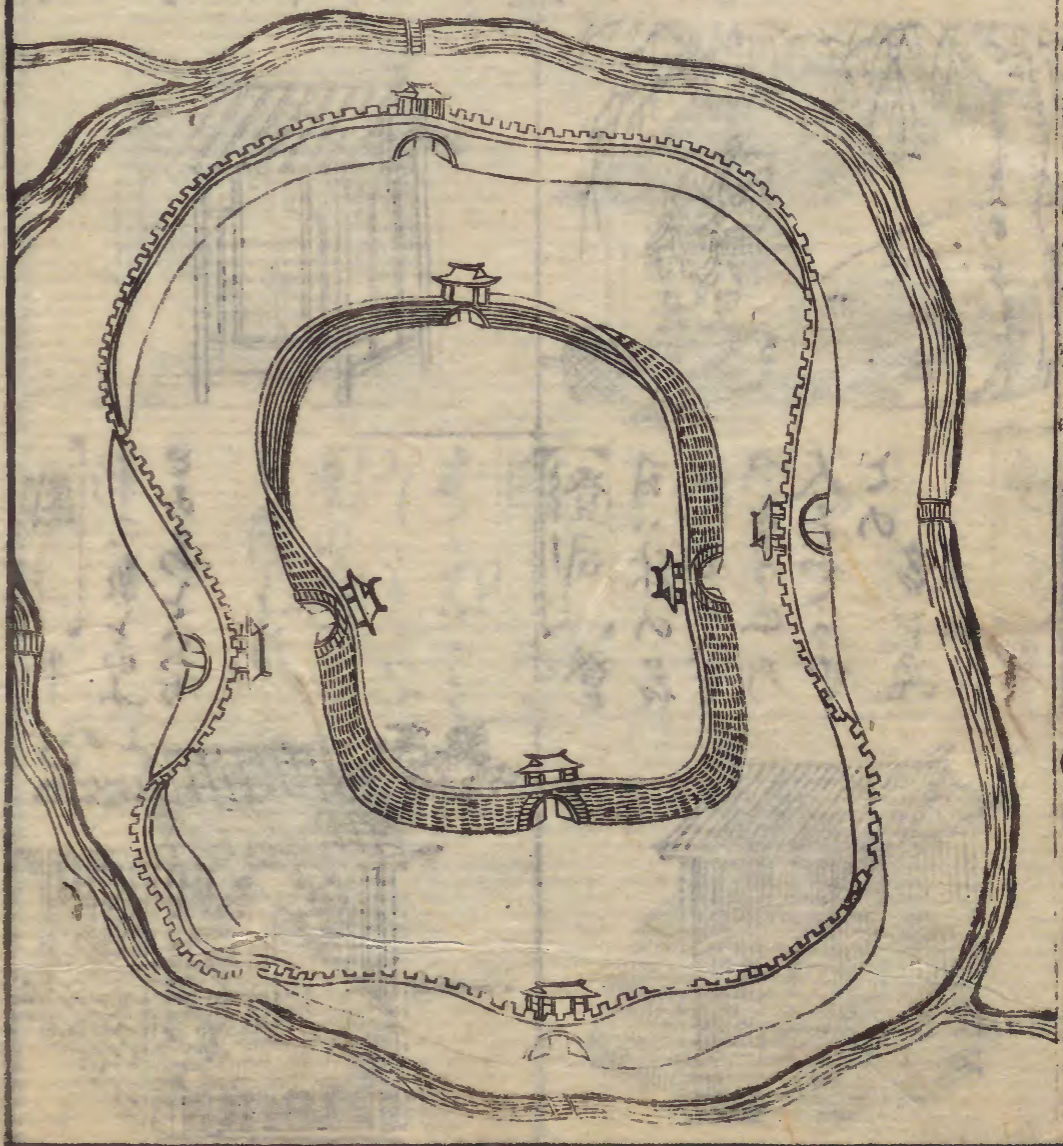
登司 登

司の林の
登とよ
つり今乃
人あや
この



郭

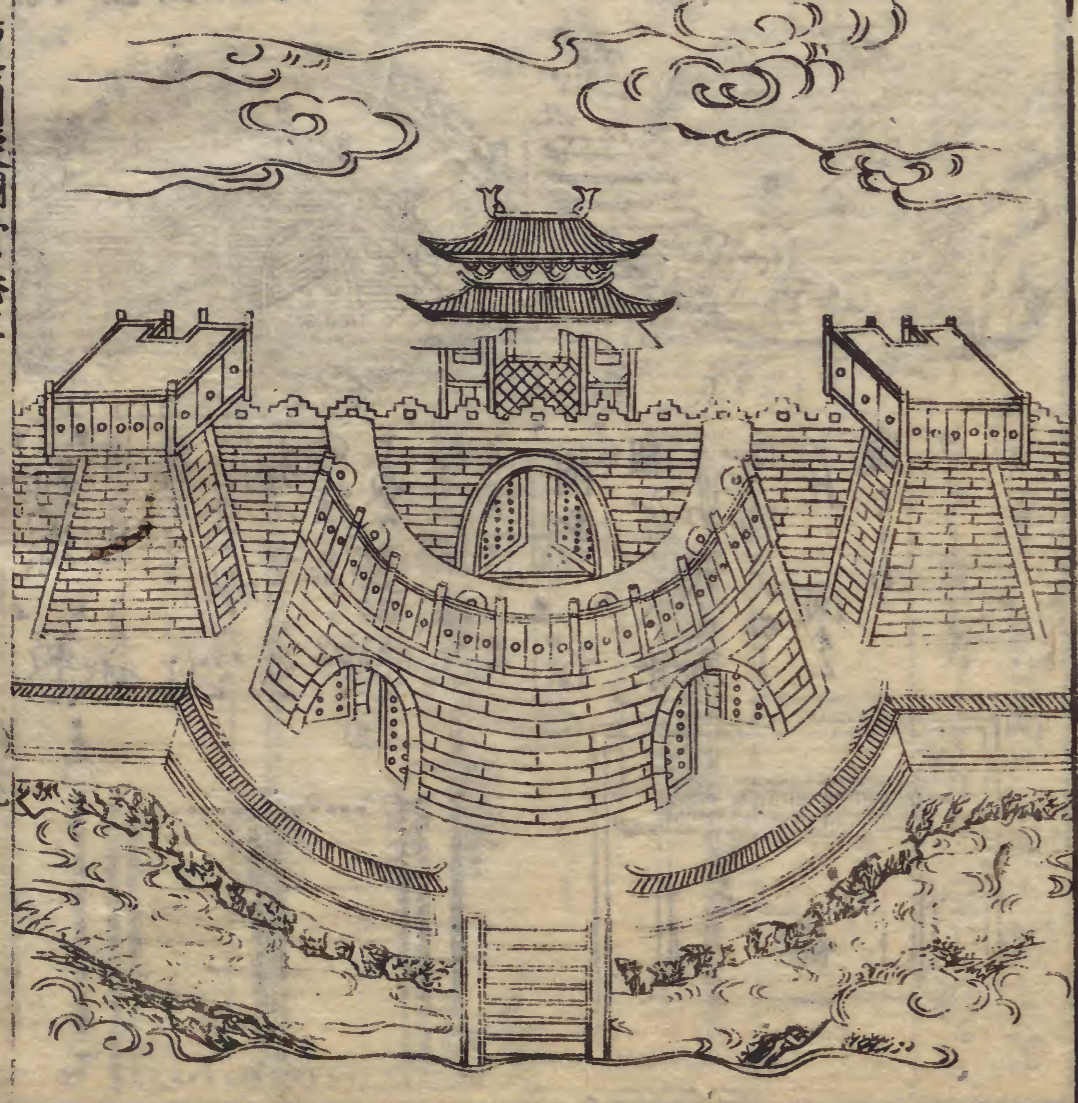
城の外の郭
といふは、
縣、城と
つらなれば、
いりて、君を
衛つて、城と
りて、縣と城
といふなり
城、ハ君わり
郭、ハ民わり
いりて、
さこのことし
○傾城、破渡の石
不とく、ことり
とも、四方
ことり、
いりて、
いりて、郭と云



唐土計略圖卷三

戒

城ハ盛なり
とく、さうりに
國勢と云ふ
故、さうり、城上の
酒と睥睨と
や、さうり、甲
より、非を
睥睨、さうりを
り、さうり、
中、さうり、早
し、さうり、の、犬
夫、さうり、さうり
さうり、さうり、
さうり

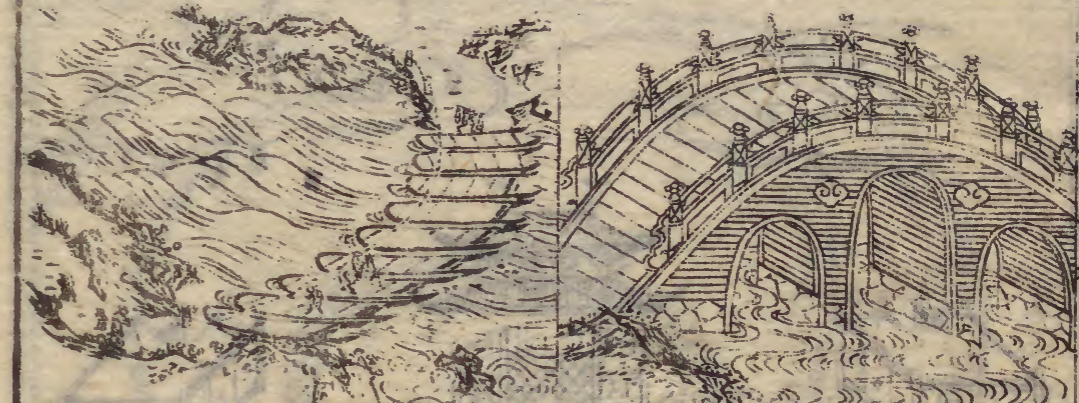


唐土計略圖卷三

橋

深きべら橋
たゞしくして河
よりく人へ能
橋て大水をも
隆城を意し
指し敷敷あり
利家園多るも
は橋の渡物多
故こゝに裁り

維舟 天
子ハ舟と造り
諸侯ハ維舟
大夫ハ方舟
士ハ特舟
すくハ昔
秦の始皇は
とけり

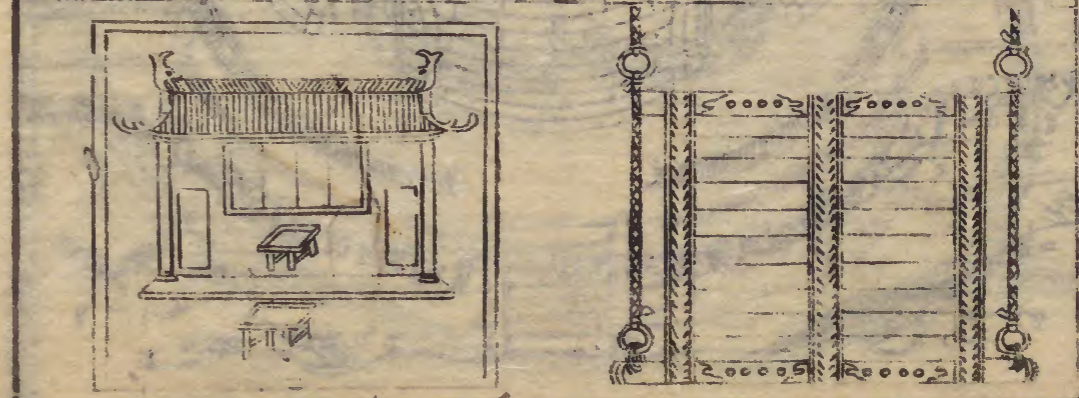


釣橋

用る具し其制
橋の心く上
施し貫くは
の鉄環と以
そのり麻繩と
以て城橋の
上はよく器

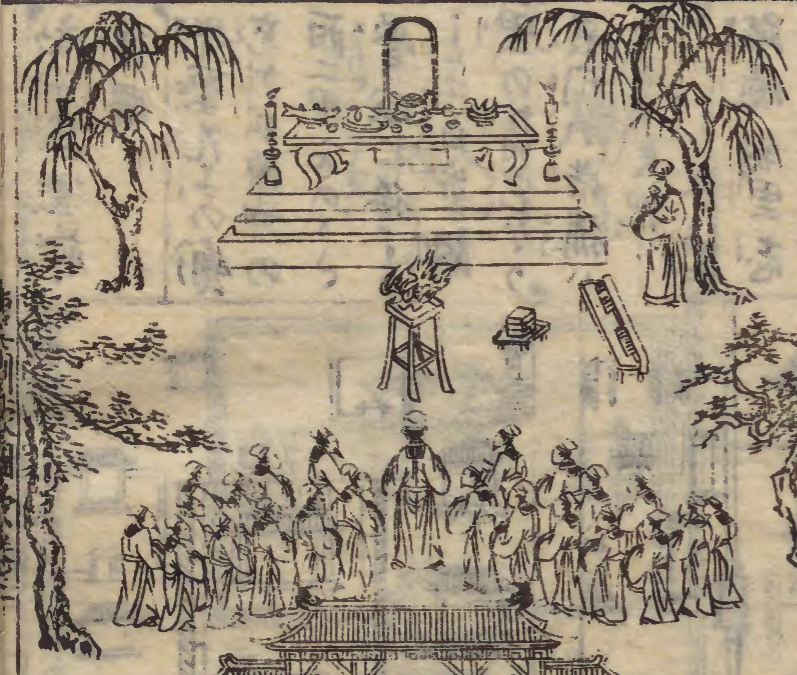
祠堂

祖とまつる取
伊禮の如
これハ回を
圖なり



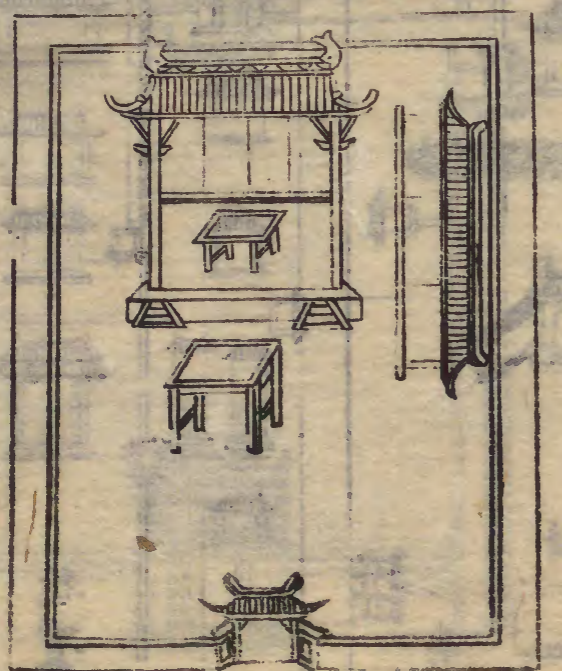
民社

共工の子句能社神と
五帝と一社と
うむる國ハ社と象る儀とを

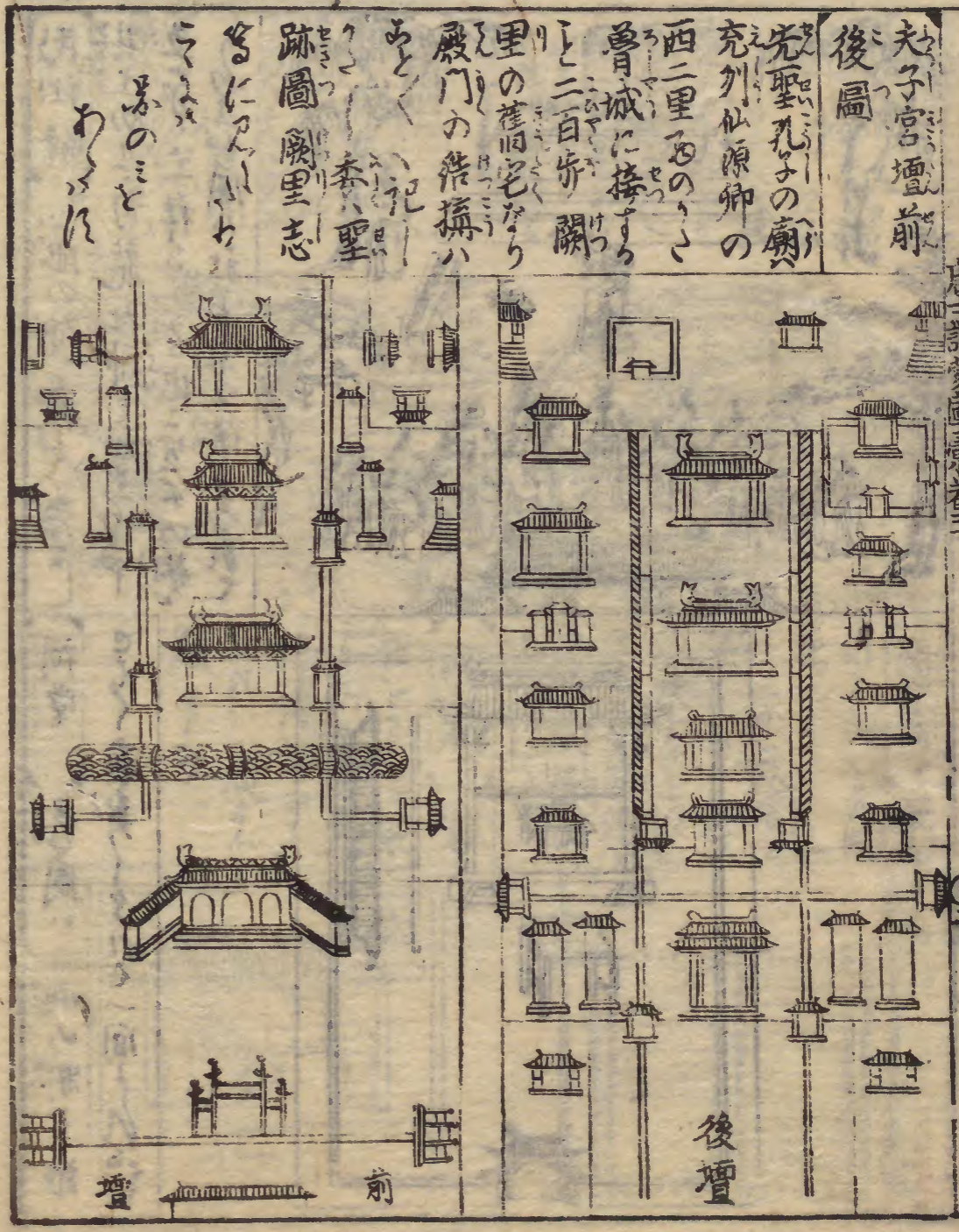
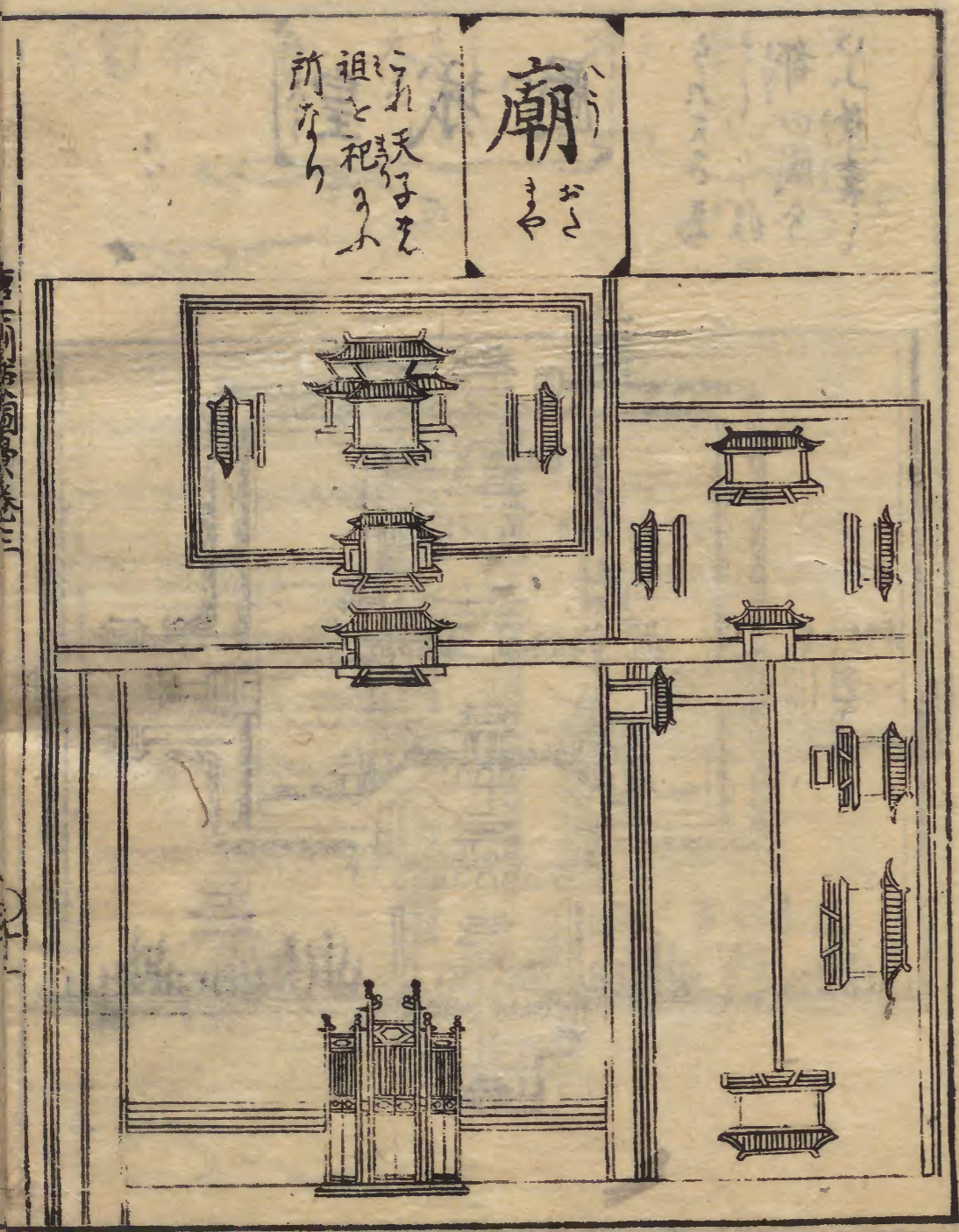


祠堂

是國ハ二間の制と
せらく家英とて一間と

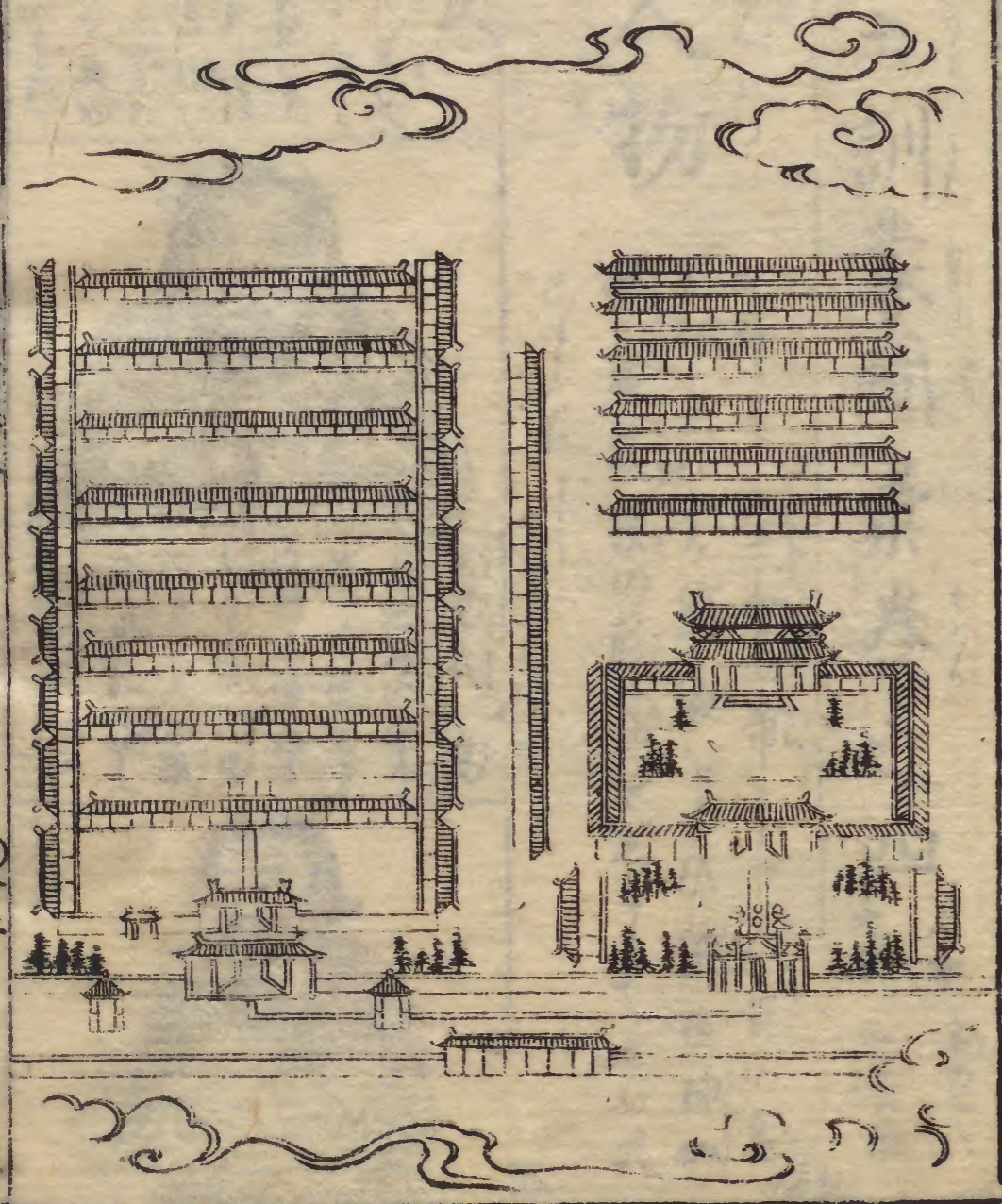


廟
 此れ天子を
 祖と祀る所
 なり



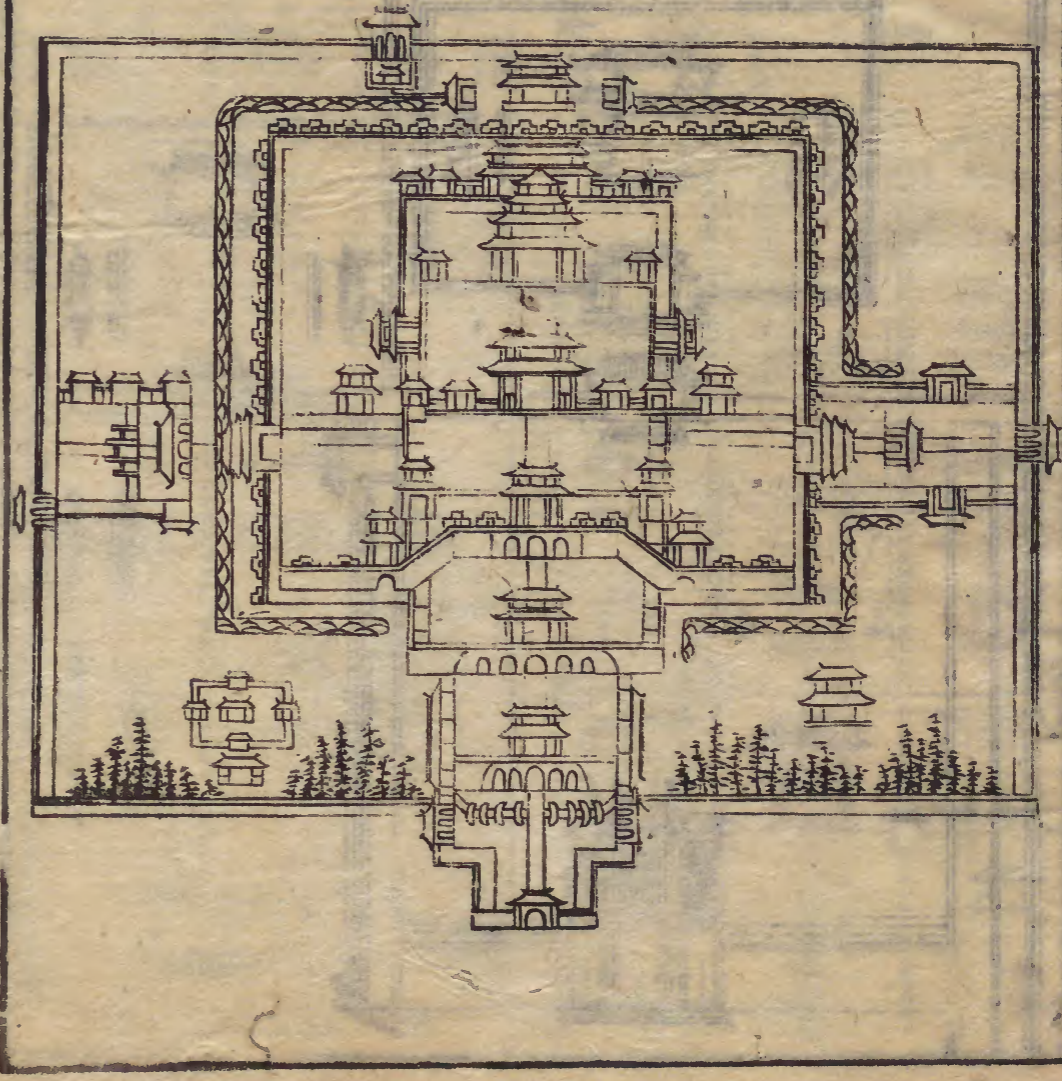
夫子宮壇前
 後圖
 先聖孔子の廟
 充外仙源卿の
 西二里西の
 魯城に接する
 二百歩關
 里の舊宅なり
 殿門の結構ハ
 西と
 東と
 跡圖廟里志
 宮に
 果の
 わ

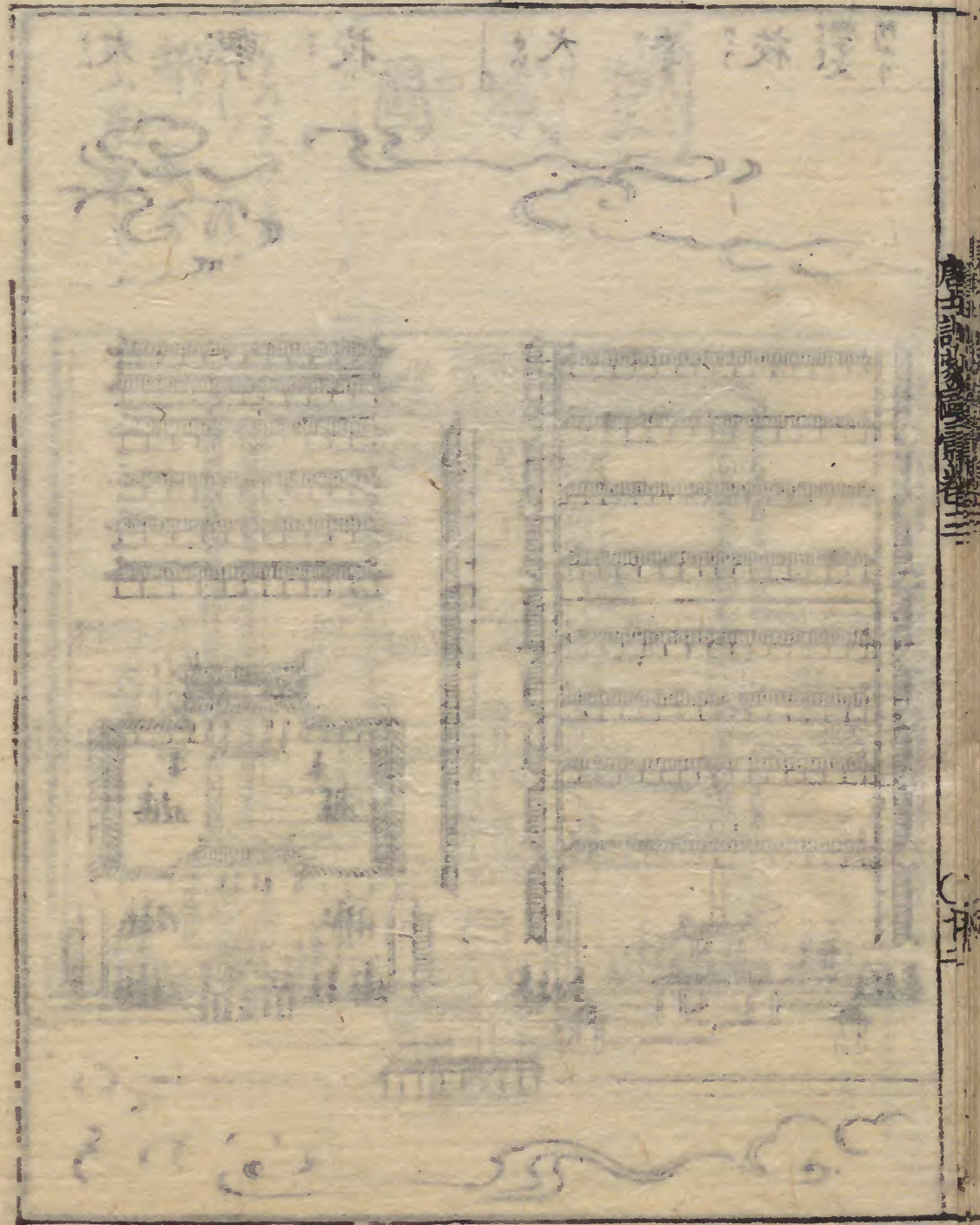
大い 學の 校の 學の 所の



皇城圖

これ天の口を
まじし
都の国今
よ上禁裏し





唐土訓蒙圖彙卷之四

人物 名の下に
之上 和名と附

人物

此部ハ上三皇五帝トシテ君臣ノ名
トナレタリトシテ佛祖神仙
靈夷戎狄ノ形容トナレテ
ナレ

渾沌氏

大荒ノ代ニシテ
その始トナレ
天地ノ乃
ト明ナレ
陽ノ道ニ遊シ
神ノ力ニ盡ワ
リニシテ萬物
ノリヤレ

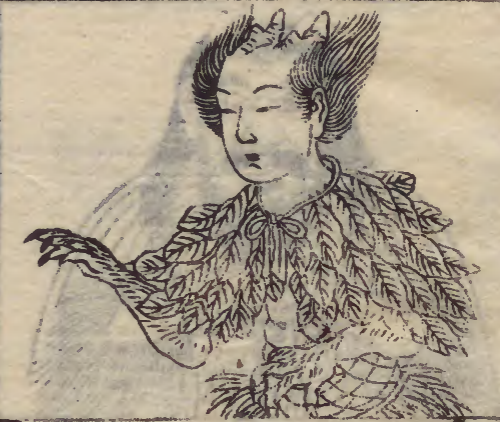


天皇氏 魁

崑崙外ノ山
出ツテ徳ヲ
以テ五運始
メテ大化始
メテ人ノ風
俗真ニ淳シ
トナレ



地皇氏 雄
耳龍門の岳
に出つ火徳有
道と陽の中
央子兼主と



伏羲氏 木
徳と以て天
徳と以て地
卦と以て書
契と造る在
位一百一十一年



人皇氏 刑
馬山提地
國と出つ土徳
あり山川を
相て裁て九
州とくると



神農氏 火
徳と以て王に
天下を耕
りて日中
市とて百
草とをえて
醫薬とて



軒轅氏 黃
帝徳と略り
兵と治り蚩尤
と戦て天下
命に取ら泳鹿
に都を在
位一十年 壽
三百歳なり



陶唐氏 帝
堯平陽に於
て其仁天
のふと其知
神の如く百姓
安樂に在位
九十八年 壽
百十八歳なり



有虞氏 帝
舜ハ浦坂に
田獵才傲て
常に殺んを
堯帝の禪と
うけて在位五
十年 壽百十
歳なり



夏禹王 舜
命て水と治め
て其功あり
舜位と承て
在位九年 壽
百歳なり



高陽王 姓ハ

子名ハ履夏の
祭と代てて
トとたもてり
毫とてり
那とてり
位十二年壽
百歳ハあり
周武王 姓ハ
雅名ハ発父
西伯王 聖徳と
以て天下と三
分にしてその
二とたもてり
武王 討と代
天下とたもてり
在位七年



楚項王 項

籍字ハ羽臨淮
の人長八尺二
寸力能鼎と
扛秦とてり
漢の高祖
と戦て利あり
て自刎て
死に
漢高祖 姓ハ
劉名ハ邦下
沛の人秦と止
楚と并て帝
位と帝と火
徳と以て長安
に都に在位十
三年壽五十二



漢武帝 名ハ

徹在位五十四
年壽七十一
古より年號カ
一此時始て
おこせり武帝
こころと神仙
と云のり貴
あり



漢昭烈 蜀

姓ハ劉名ハ備
義興と起り
曹操と戦て
漢中王と稱り
後即位あり
在位三年壽
六十三あり



漢光武 漢

姓ハ劉名ハ秀
民開り兵を
わきて王莽と
誅漢室と
中興せり在位
三十三年壽
六十二あり



魏太祖 曹

操字ハ阿瞞
沛國譙の人
漢の獻帝の時
義兵とて
賊と戦り功と
以て王となり
漢室を
たへり



吳大帝 姓ハ
孫名ハ權 魏
文帝 吳王に
封ハ位ニ即ス
金陵ニ都ニ
在位三十一年
壽七十一なり



梁武帝 姓ハ
蕭名ハ衍 小
字ハ陳兒 甚ハ
信ニ依リ 侯景
乱ニ起リ 臺城
ニ圍テ 餓ニ崩
スリ 壽八十
六なり



唐則天 皇后
武氏ハ太宗の
才人ニ高宗の
立テ 皇后トシ
高宗崩ルニ
朝ニ臨ミ 中宗
ト瘖テ 潛々
スリ 在位二十一
年 壽八十一
唐玄宗 睿
宗才二の子ニ
封ハ 祿山ノ乱ニ
幸ニ 蜀ニ幸
シテ 位ニ上リ
稱ハ 太皇
帝ト 在位
四十四年 壽
七十八なり



宋太祖 姓ハ
趙名ハ匡胤
在位十六年
壽五十九なり
太祖始 後周
ニ事テ 歳功ニ
シテ 後自ラ
立テ 恭帝ノ
禪トスルナリ
元世祖 姓ハ
孛兒只斤 魯
鐵木真 蒙古
部人ナリ 世
系古部ノ長
シテ 威徳ニ
人ニシテ 宋ト
比シテ 王トナリ



明太祖 姓ハ

朱氏諱元章
至正十五年義
兵とて一洪
武元年即位
在位三十一
年壽七十一
なり



伯夷 名ハ

倉頡 一黃
帝の所ハ人々
始テ鳥の迹ニ
シテ字とつく
と云天カレテ
シメニ粟と云
ハ一思ふ家
哭ハ世ハ遂ニ
字ハ胡ハ都
下ト称ル



元字ハ公信ト
ハリ才の叔齊
ト云と云ハリ
俱ニ逃ク西伯
ニ服レ武王の
紂ト成レ武王の
凍心ハ首陽
山ニ隠レ飢死
周公 武
王乃チ君宜
ト云ハ成王の
神ト相テ政
ト撰ル一王
武王周公共
ニ聖人ナリ



太公望 姓ハ

姜氏名ハ子牙
又呂尚といハ
西伯涓陽ノ
逢テ車にのり
テ師と
カレハ六韜
兵法とつく



顔子 名ハ

回字ハ子淵魯
人心と潜リ
道と體ト云
號シテ亞聖ト
稱ル



先聖孔子

名ハ丘字ハ仲尼山東曲阜
縣乃人周の靈王二十一年三月四早時

生ハ小周ノ
敬王四十
一年四月
四日午時
ニ生レ死ハ
年ハ七十
三魯の泗
水の上ニ



曾子 名ハ

参字ハ子輿
聖門一貫ノ
傳ト得ル
其学問ノ本源
孝ト云ハ
故ニ孝經
曾子ノ問也



子思 一名
 伋 孔子の孫伯
 魚の子衛
 子思 魯の
 中 庸と形り
 聖 學と演
 次て孟子を
 傳と啓り
 孟子 一名
 軻 字ハ子輿魯
 の孟孫の後鄒
 人なり業と子
 思の門に
 學既と通て
 齊梁の間に
 わる其學萬
 世に明かり



莊子 一名
 周 字ハ子休宋
 の圃 睢陽蒙縣
 の人長桑公と
 師に南華
 仙人と号り
 著は内
 篇五十卷九
 十萬餘言也
 屈原 一名
 平 楚の同姓
 三 大夫と
 憂愁して離
 騷とけり
 汨羅江に
 死す



張良 一名
 子房 韓の公
 子のり 圯上老
 人の書と授り
 高祖に用られ
 功成て後赤松
 子と号り
 身と保り
 韓信 淮陰
 の人なり漢王
 壇と築て拜
 して大将とて
 三秦とを平
 大功とありて
 後誅られ
 斬死す



司馬遷 一名
 字長とあり漢
 の太初中に太
 史令とあり刑
 せられて憤と
 發し史記と
 修し万代史
 官の法とあり
 嚴子陵 一名
 光會 和合餘塊
 の人なり
 光武と同字
 光武即位して
 用んとすれ大
 出れし富春
 山に耕して居
 たり



諸葛孔明 諸

葛亮字孔明
南陽に寓居
より劉備往
てこれを見
終に劉氏と
物名臣乃
名とあり

關羽 字
長河東解
人なり蜀乃
先主に事て
恩見弟の
孫權築
てこれとあり
とあり



王逸少 王羲之

之字ハ逸少將
軍會稽日乃
内史とあり上
己の日山陰の
蘭亭に會て
風流の右あり又
古今能書の才
あり

陶淵明 晋の
臣なり宋に
在る名と譽て
潜字ハ元亮
と名はく世に
靖節先生と
号し於酒に
意あり人なり



杜子美 杜甫

字ハ子美京兆
杜陵の人なり天
寶の末賦を
奏り帝とんと
奇くして拾遺
の官なり
及南に及
たり此人の才
一なり

李太白 李白
の母張庚の像
は入るやめて
李白とあり
母これとあり
世に謫仙人
と稱はれ杜子
と一雙あり



韓退之 韓愈

愈字ハ退之
南陽の人なり
學者とんと
りくし泰山
北斗の如し佛
骨表と上り
潮州に謫せ
たり

柳子厚 名ハ
宗元河東の
人也と稱はれ
州と稱はれ韓
柳と并稱せ
らる文章卓
偉の進士
あり



歐陽永叔 名
 脩字、永叔、
 廬陵の人、少、
 孤、り、永、負、
 七、灰、と、い、て、
 一、畫、一、書、と、ま、
 一、の、文、章、カ、カ、
 陸子静 一陸
 九淵字ハ子静
 金翁の人、学者
 象山先生と
 孫、以、語、疑、世
 二、外、と、云、々、
 子、心、と、本、と、
 禪、一、似、と、り、程、
 朱の學と同一



朱晦菴 名
 熹字ハ晦菴、
 本、一、文、と、
 ら、孔、孟、以、来、
 の、理、學、と、啓、
 周、程、の、書、と、註、
 一、文、筆、と、り、
 一、大、成、の、真、
 儒、
 黄山谷 名
 庭堅字ハ魯直
 洪州の人、官大
 史、至、初、李
 公、擇、石、牛、洞
 山谷寺、相、
 一、常、に、
 故、山谷道
 人と号す



蘇東坡 名
 子瞻名ハ軾東
 坡、石、子、眉、
 山、の、人、蘇、林、字、
 子、瞻、一、文、筆、
 古、今、絶、り、
 畫、亦、名、家、
 許魯齋 許
 謙字ハ益之、金
 華の人、學、程、
 朱の統、と、
 その外、天文、地、
 理、典、章、字、學、
 醫、術、教、乃、
 儒、説、と、り、と、



薛文清 名
 瑄字ハ徳温
 山西河津の人
 年、十一、
 詩、賦、と、善、
 進、士、登、り、
 史、一、擢、
 生、薛、夫、子、
 吟、
 王文成 王守
 仁字ハ伯安、餘姚
 の人、教、賊、と、
 一、功、り、
 陸、象、山、の、
 一、心、學、の、宗、
 先生と稱す



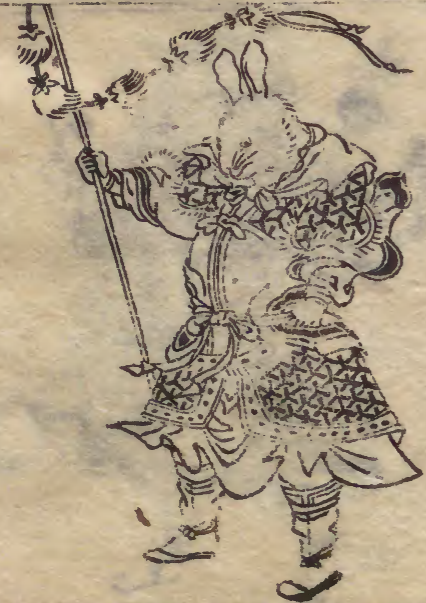
公文久職將神酉丁



圖一星魁



馬司名將神卯丁



通名將神未丁



音之觀之衣之白



佛之尼之牟之迦之釋



佛神仙類

君之帝之武之真



音之觀之海之南



卿狂衛名將神午甲



江子展名將神戌甲



卿非孟名將神辰甲



長文扈名將神申甲



王子趙名將神丑丁



卿巨崔名將神巳丁



卿文王名將神子甲



通文張名將神亥丁



祖々彭



母王西



賓洞呂



翔方東



子の老

君老上太

童文明名將神寅甲



あひとを...
蠶の神天駒の星...
精美帝の元祀西陵氏といふ始

氏陵西祀元蠶先神之駒天



張果老 陶弘景



陳之圖 王質



唐詩話圖景卷四

萬國物
君子國



黑契丹



扶桑國



巴赤舌



包石



吾原愛達



阿思



巴麻古

無連蒙古



紅斐



土麻



女暮樂



阿里車盧並



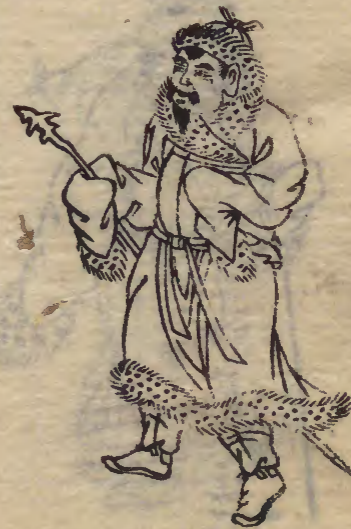
北魚目國



擺里



深列大



大羅國



采牙金彪



鐵東



後眼國



歌奈



波利



越東

乞黑奚



骨利國

越東

木思奚德



昏吾散僧



於連魯



黑蒙國



訛魯



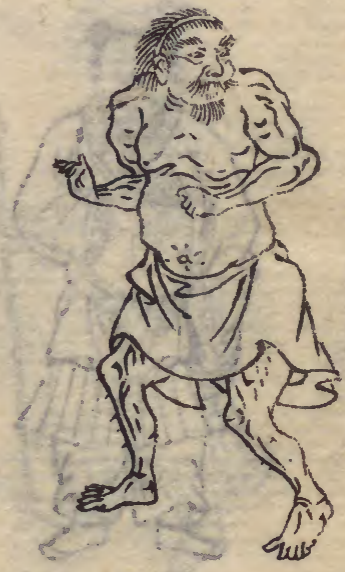
迦佛国



鳥伏部国



三伏獸国



木直契



獠



西洋国



文身国



道明国



義渠國



蘇部識匿國



乾陀國



龜茲國



烏孫國



新千里國



正帶國



擔波國



撒馬兒罕

サマルハン



長脚長臂國

長脚國ノ下

長臂國ト相

近レ其人常ニ

長臂ヲ負テ

海中ニ入テ

魚ヲトル



下靈國



唐土訓蒙圖彙卷之五

人物 名の下に
之下 和名と附

人物

うき世變夷の存続をかしこみ多く採
怪しき事ありとわりやいへども今も
これ國としてあんとあつて一む又新
明國の人乃國とくくわたり

大明

中華前代ノ人物訓蒙圖
彙ニ出タルハコレヲ

載セ

新考

七清

大明ノ太祖大元ヲ山ニテ國ヲ建ル也
後李自成死コトコシテ終ニ止マ



轉祖ヨリ大明ヲ山ニテ國ヲ
大清トス日本正保ノ比ナリ



賀蘭 中華ノ西北ナリ此國水ニシテ
 井ヲ深クホリテモテ故ニ生地黄ニ
 細器ヲウツメテ雨水ヲタメテカフ暗棚ニモ先
 燈籠ノ故ヲ問定テ相應ニ三百七持行也



匈奴 代ノ漢ニ敵スル國ノ胡ヨ
 蒙古遊韃ト同シ類ナリ



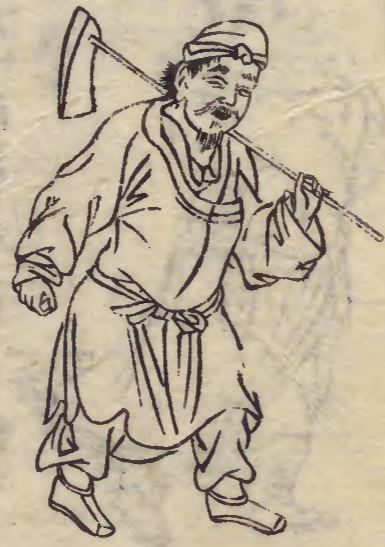
兀良哈 フラシカイ遊野ノ國ナリ



麻阿塔 此地ノ神ヲ舍屋ト云城池
 ナリ



日蒙國 國ニ房舎アリ種田姜ヲ出ス



一目國 此國
 北ノ海外ニアリ



大漢國 兵戈ナシ攻戦セス文身國
 ト同クシテ言語コトナリ



林邑國 象ナリ
 稻毎月一タヒ
 熟ス文字ヲ
 貝葉ニ書ス



的刺普刺國

國二城池
アリ由ラ
明空
珠異
冥
ヲ出ス



哈蜜國

韃靼ト同シ

西番火州ノ東ナリ回回



吐蕃

假西蕃ト号ス本西蕃



住鞏國

西番南印度也
象ノ背ニ屋ヲ立テ勇士ヲ
載ス



馬巴羅國

此國異冥生頭香ヲ出ス



野人國

木葉ヲ食フ

此國大山林アリ野人多シ
男子モ髮ノ長ク亂カシ



印都丹

国人身黑色地熱シテ
雲ナシ



一臂國

西海ノ中ニ其人一
目一孔一手一身半体
ナリ肩ヲ比テ魚鳥
ノ相合カシ

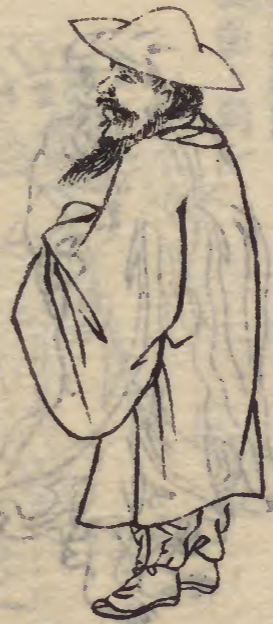


退波係黒和尚



此国城池房舎アリ羊馬ヲ出ス
林木甚多シ

七番耕山



此地馳牛ヲ出ス種田アリ

黒暗国



此地驛牛ヲ
出ス

憐国

月ニ至ル



此国西番ニアリ乳ヲ金ヲ
活トス唐天府ヨリ行テ五

入不国



此国城池種田アリ胡椒ヲ出ス

氏人国

建木ノ西
ニアリ其
状ハ人ノ面
ニシテ魚
ノ身ナリ
足ナシ
胸ヨリ上
ハ人ニ似
下ハ魚ニ
似タリ



猴猴国

一名抹判刺
國若別國ヨ
リ兵来レハ
衆ク猴コレヲ
防クニ法ア
リ敢テ来
侵サスト云

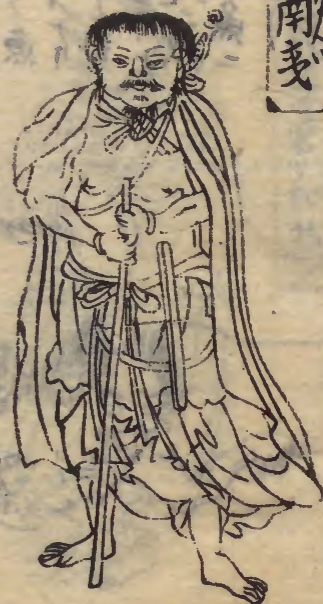


鳩尼羅国

此国乃千西番佛牙石ノ出ル處
ナリ



西南夷



西南夷國人髪ヲ雉リ足ヲ跣ニシ
斑花布ヲ衣色ヲ布キカヲ帯ヒ
怒ヲ帯フ

西番國



一畧方トイフ武丁畧方ヲ伐ツニ年
コレニ克トコレナリ城池房舎ナシ多
山林ノ内ニ坐シ人ノ肉ヲ食フ其國人
佛ニ奉スル者皆刺麻ト称ス

魁三蠻



此人舟ヲ室ト
スコレニ三種
リ一ニ魚魁
又ハニニ魚
ニハ鱉トス
海ニ波ヲトス
トス木ヲ伐リ
果ヲトル

盤瓠



盤瓠ハ高
辛時ノ
犬也ソノ時
犬我ヨリ
責ケリ其
將者ヲ
得者ヲ
婿トセニ
アリケルニ大吳將軍ノ首ヲ獲テ奉ケル
テラアタヘラレ犬女ヲ負テ南山ニ入リ六人
子ヲウメソノ子孫皆獲瓠タルナリ

交趾

一名安南



此国人性
形狡後ヲ
翦ニ跣足ニ
テ醜シ賊
盜ヲ尚フ後漢ノ
馬援コレヲシタガヘタリ

老嫗

安南ノ西北ナリ



古ノ
越裳氏也
此国人性
狼戾ニ
シテヨ
ロシカラス

賓童龍



此地佛
書ニ言
王舎城
ナリ今
占城ノ
地主
出ル時馬
象ニ騎ル

真臘國



此地廣列ヨリ船ヲ登レ
北風十日ニシテ
至
也
此地ノ
事真臘
風土記ト云ニ詳ナリ

瓜哇國

此國東南海嶼之中ニアリ飲食木葉ヲ以盛リ手ニツ二三食ノ丸草虫ノ類皆享テ食ス



佛羅安國

此國ニ飛來ノ神ニ個アリ六



三佛齊國

南海ノ中ニアリ此地ニ犀象珠璣異寶香藥ノ類ヲ産ス泉加ヨリ一月ニシテ至ルナリ



回鶻

匈奴ノ種類ナリ本回紇也唐ノ德宗ノ時其地ノ亂鳥ノ捷ヲ鶻ノ如キヲ以テ回鶻ニ號スラニ純鶻者同ヲ以ナリ



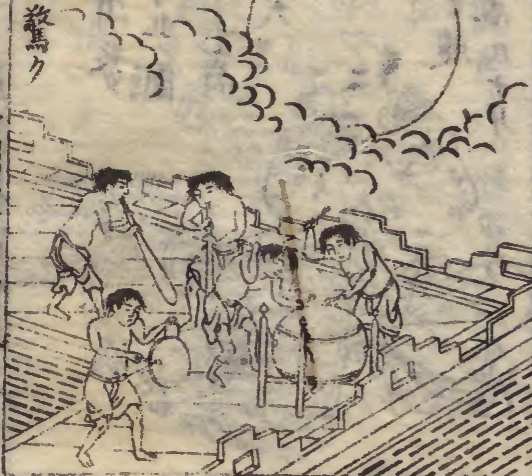
千闥國

此國人外スレハ火ヲ以テ化シ骨ヲ收テ葬ル其塚ハ沙ヲ以テ作ル塚門ヲ守ル者ヲ沙門僧ト稱スコレヨリ中国モ沙門ト稱ス



沙彌茶國

此地大陽西ニ没ル地ナハ晩ニ至テ日ノ波色雷運ノ如ク國王城ノ上ニ人ヲ聚テ鐘ヲ鳴シ鼓ヲ打テ混雜サテレハ小兒驚ク



大食勿拔國

此國多ク乳香樹ヲ出皮ヲ研テコレヲトル



大食彌芭四維國

此國主ナレ豪キ者更ク互ニ事ヲ主ル國人獵ヲ好ミ日々ニ獸ヲ射テ食ス



木蘭皮國

此國産スル所來
一粒長三寸凡圖
四五尺胡羊ノ高
三四尺尾ノ大
扇ノ如シ春
割膏ヲ取
敷テハ再ニ腹
ヲ縫ハヨク活ルナリ



鳥衣國

此國
人ノ
見
レハ背行
面ヲ見セシ
メスコレヲミレハ
昂コレヲ殺ス



大閩婆國

此國綿羊
瑜珠寶貝
出ス



此國
男
人
井
ヲ照
シテ
又
南
風
ヲ
ム
ト
云



麻離拔國

此地ニ異香
珠
牙
珊瑚
ヲ産
金銀
交易
ス



狢國

毛ヲヒ衣ヲ
ビス物イ
犬ノ如シ
夕ハ三ノ
ニテ能漢
語ヲナス



此國ノ人男ハ狗ニテ身ニ

葱臆國

此國人ノ性實直ニナ
客旅ヲ好ム
親大
リ



東印度國

此國
人
強
殺
死
善
ス
ト
云
フ



戰
具
唯
一
色
アリ

大食國 此國山谷間ニ

樹アリ其花人音如トモノイワ
ス只笑一ニテリニ笑ハソノミ
ニ香花ス



歐加回 大食國

祖師 浦羅維
ト云人ノ事
荒野ニ在
男年ニ生
洗水ナク
六地ニ毒
水ニ毒ナク 小テニ 五回ラコレラ
ニレハ脚ヲ以テ地ヲスル
ソレヨリ一ノ泉湧出テ甚
清シ



訶陵國

此國ノ人
木屋重
閣ヲ造
櫻皮ヲ
以テ蓋
酒食ヲ
ヲ以テ
食ヲ



晏陀蠻國

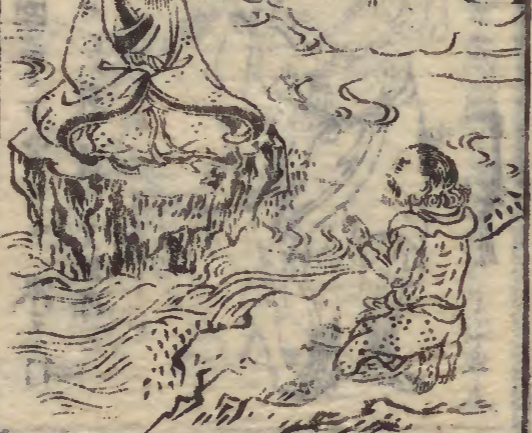
此國ノ人身黒漆ノ如シ
山蜜トモス



ヨク人ヲ食フ故ニ船人
敵テ岸ニ近ツカス

勿斯里國

此國雨ノラス
天江アリテ溢
時ハ四月日田ヲ
浸ス水退
テ耕ス
老人水ヨリ
出テ吉山
ヲ人ニ告
ルト云リ



南尼華羅國

此國人佛教ヲタツトシ
牛ヲ尊
牛ヲ尊
以テ屋
壁ヲ
スル



大食勿斯離國

此國ノ山ニ天生ノ果樹アリ蒲盧ト
名付ク採リ食ヘシ其外産多シ



馬老日國

海歲十二月
甲ヲキル者ト
衆人ト云カハ
シメテ年ノ
豊儉ヲ占フ



可只國

此國西番寶物ヲ出ス
処ナリ



婆羅國

此國男女皆刀ヲ佩テ行
人ニムツシカラサレハ刺殺シテ他所ニハ
出ル月外ニナルトキカニヒナシ



不刺國

西番ノウキ羊馬ノ出ル
処ナリ



三首國

此國夏后啓ノ北ニアリ



三身國

鑿齒國ノ東ニアリ其人
一首三身ノリ



蒲甘國

其國王金
冠ヲ戴キ
金銀屋ヲ
歸ハ



斯如里野國

山上ニ穴アリテ火

出ツ國人火石ヲ出テ
中ニ托レハ爆テ皆
碎ク此火モヘ出テ
林木ヲカス石ヲ焚



蒲家龍

海東
南一
アリ
國人
頭ヲ
剃ル
此國胡椒
香沉香
香白豆蔻
出入



羽民國



海東
南嶽
三羽
毛羽
生ニテ
飛カ
モ遠ク
飛コト
アタハス人ニ似テ卵生ス

都播國



此國
鉄勒
ノ別種
草ヲ
結テ
廬ヲ
耕作
ヲシテ
ス百会
アリテ食トス貂鹿皮鳥羽ヲ服トス

管斯期國



西南海ノ上ニ野身黒
如ク普商如クテレテヨク忠ス

聶耳國



無腹國ノ東ニアリ其人ノ身虎文アリ
耳長シテ膊ヲスク行ドキハ手ニテ
耳ヲ捧テ行ナリ

無腹國



海ノ東南ニアリ男ヲミテ腹肚ナシ

巴遂山



南海内ニアリ黒人虎首ニテ兩手に
蛇ヲ持テコレヲ啖フ

交脛國



國人脚脛曲反テ相交ル

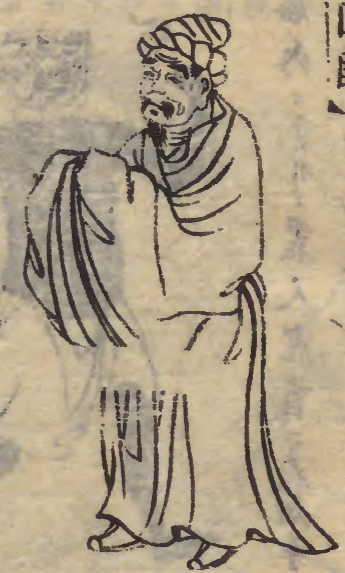
陽靈山神



此神ノ狀人ニ似テ
二首アリ名ケテ驕嘉トイフ

皇清同治庚午歲

回回國



國ニ城无官室田畜市アリ風土ハ江淮ト異ナラス

穿胸國

盛海ノ東ニアリ胸ノ窮ニリ弊者ハ衣ヲサリ早者ニ竹木ヲ以テ胸ヲ貫サレテコレヲ擡ニ



巢魯果訖

此國城池五穀アリ良馬ヲ出ス



結賓詔國

國ニ城池種田アリ黃頭仙人成道セシ如ノリ



洲華公國

國東南海中ニアリ其人常ニ大海ニ出テ人ヲ奴レトテテコレヲ憐閣河國ハ賣テ



阿黑騎



此國人ハ魚ヲテ活トス國ニ馬ニ

阿薩部

國人獵ヲナシ其肉ヲ重クシテ石ヲ以テラシ汁ヲトリ米及ヒ草ヲ肉ノ汁ニ醸シテ酒トナスコレヲ飲ハ弊ヲ



長毛國



此國人身長毛アリ城池種田アリ晋ノ永嘉四年此人ヲ獲タリ

東洋列國圖卷之三

四十一

大秦國 西方番商ニニ萃ル其
王布帛ヲ以テ金字ヲ織出シテ
トス此地ニ珊瑚ヲ生ス



白遼國 此國珍寶多シ酥酪餅
田ヲ食フ魚菜少シ金
銀琥珀等ヲ産ス人雪布ヲ以テ頭
上ヲ纏フ



纒漢國

永昌郡 南千五
百里ニ
アリ國
人尾ア
リ坐ス
ルトキハ
先地ヲ
ウカチ尾ヲハサメテ後ニ安坐ス人
其尾ヲ折レハ卒然トメ死ス



單馬令

宋ノ慶元
二年ニ金
三壇金季
一柄ヲ此國
ヨリスハム
國ニ地主ア



柔利國 此國一目國ノ
東ニアリ



國人膝ヲ曲テ前ニ向フ一
足アリ

默伽臘國 國ニ主アリ珊瑚樹ヲ
出ス鉄ノ烟ヲ以テトルト云処ナリ



滅吉里

國人言語難解ニ似タリ應天府
ヨリ四廿箇月ニ至ル



吉茲心厄國

此國ノ地
西北極ニ
近ニテ
寒シシ畜
牧馳馬
多シ



嶺南國



國海島上ニアリ

奇風國



西風ニ乘シ豫知ニ至ル湯其車ヲ破ル

訶條國

金遼山

廟ニ石鑿アリ人モ
飲食ノ
盡テニト
スルトキ
コレニ向テ
礼ヲナス
トキハ飲
食悉ク
具ル



故臨國



國人黑色好テ弓ヲ帶中國ノ人船ニテ
往ハ大食ノ人必コヨリ小舟ニ易テ乘去ル

隴木節

昔日番王ノ子都ヲ建テ
百姓住ス應天府ヨリ馬ニテ
半年ニ行ナリ



登流眉國

此國ノ人
手ヲ
交
一テ
兩膊ヲ抱テ
礼ヲナス



三蜜國

此國ノ民
エラ食フ
死スル者
埋メトモ
心肝標
スノ後
復化
シテ
人ト
ナル



無腎國

此國ノ人
肚腸ナシ
エラ食フ
穴ニ居ス
死シテ
ウツメハ
心標ス
フタビ人ト
ナル



不死國

此國人
色黒
死セズ
不死樹
アリ
ア食ハ
壽シキ
赤泉アリ
コレヲ飲ハ
不老



烏長國

此國民
死罪アレハ
殺サス
コレヲ空山
ニウツス事
ノウタカ
ハニキ
アレハ藥ヲ
服スレハ清濁



自ラ驗アリ
其事ノ輕重
ニ
隨テ決断スルナリ

懸渡國

此地山溪
不通
土人
石ヲ
壘テ
室トス
水ヲ飲
ニ相引
テ手ヲ
接テ
飲也



波斯國

此國人身
色黒
金花布ヲ以テ
身ニ纏フ
王ハ虎皮
ヲ以テ身ニ
蒙フ出ルト
キハ軟塊ニ
柔ル



撥枚力國

此國人五穀ヲ識ス
肉食ヲナス常ニオ
ニ針シテ血ヲトリ
乳ニ和シテ生
ヲノム
身ニ衣
ナレ腰
ヲ羊ノ
皮ニテ掩フ



婆羅遮國

此國人狗ノ
頭像ノ面ヲ
並ヘ服テ男
女晝夜歌
舞
ナス



日比吾國

此國寶鉄ヲ産スコレヲ及トナセハ
玉ヲ切ル
泥ノ如シ



五溪蠻國

此國人
父母ノ
死ニ
遇テ
鼓行
踏歌シ
親屬
ツリ
産ヲ盡シテ擲
ラツクル



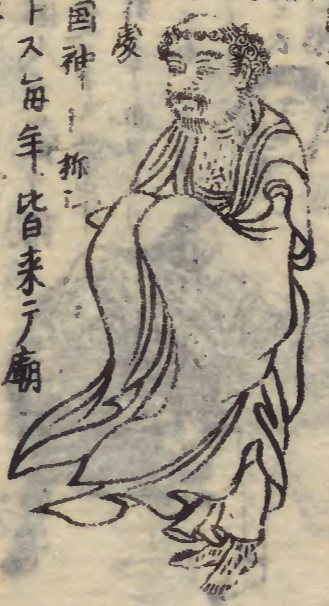
眉路骨國

此國七重ノ城アリ
黒光ノ石ヲ用テ
砌トスモ段ヲ
ネトシ肉野ヲ
食トス金銀ヲ
錢トス



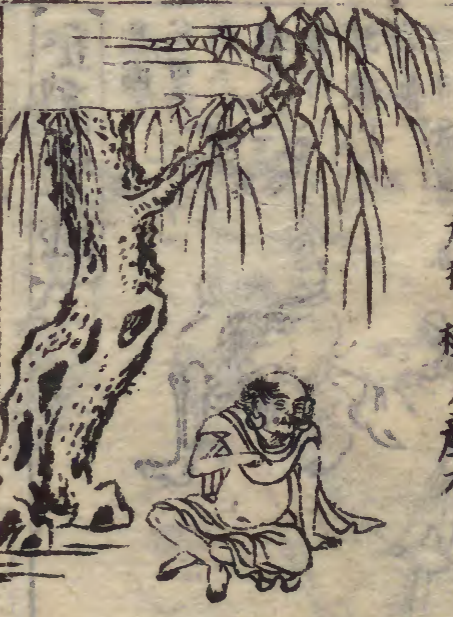
麻嘉國

此國土人
其國神一孫
佛トス毎年比魯来テ廟
ヲ拜ス



藏國

此國城池屋舎アリ地ニ
大柳樹ノ産ス



登山之神

早耳ノ水ニ俞兒
ト云者アリ登山ノ
神ナリ長一尺餘
ニシテ黄冠黄衣
朱服シ馬ヲ走シ
齊ノ桓公ノ特魯
ヲ見ル覇王ノ
君興レハ俞兒ア
ラハルト云リ



鍾山之神



名ヲ報ト言龍身人面ナリ
朝陽谷之神



水伯
トス
虎ノ
身人
面
首八
足八
尾青
黄色
ナリ

金神

左耳ニ青
蛇アリ兩ノ
龍ニ乘レリ
虎ノ爪ニメ
鐵ヲトル



コレ西方
ノ神
收ナリ

神陸

一名堅
吾其狀
虎ノ身
人ノ面
九ノ首
九城ノ
事ヲ
司トル



鶴山之神

其狀鳥身龍
首古ニコレヲ
祠ル礼章
璧ニ献ヒリ



燭燄

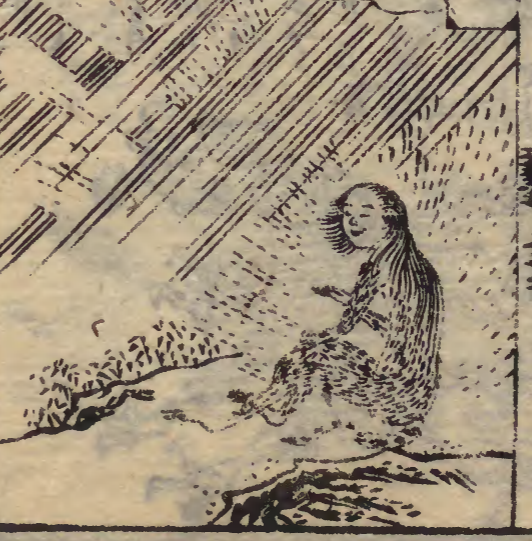
北海外鍾山
ノ神
ナリ



身ノ長百里人面
龍ノ身赤色ナリ

禊夫

此神黃山
ノ陽ニ居リ
出人光アリ
此神天
地ヲ動ス
甚ニ爽
靈ヨク
亦云フ
コニ雨
ヲフ
ラス



相柳氏

崑崙ノ北录利ノ
東ニアリ
共工ノ臣
ナリ九
首人面
蛇身也



天山之神

狀皮囊ノ如シ
背ノ上赤黄
火ノ如シ
六足四
翼面目
ナレ名ヲ
帝江ト
イフ



大者北之神

大人國ノ
北ニアリ
獸身人
面蛇耳
ヲ貫リ



強良

大荒山北極
ノ外ニアリロ
蛇ヲ御ム其
狀虎ノ首
人ノ身
四蹄
有



唐王羲之草书卷五

真賞齋
印

國立公文書館
藏

